



台湾ツバキ [台湾椿] (ゴードニア)

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 外来種・園芸品種



科名 ツバキ科 (APGⅢ)

特記 生長：普通

10月から2月頃、枝先に白い花を次々に咲かせる。台湾ツバキ名で親しまれるゴードニア・アキシラリスは、台湾、ベトナム、中国南部原産。やや寒さに弱く、関東以西で植栽できる。日本のツバキと比べ、常緑でありながら、明るい緑色で、長楕円形の葉に特徴がある。



Memo

白い花弁に大きな黄色の雄しべが印象的。英名は、Fried egg tree (目玉焼きの樹)。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期													
果 実													
紅 葉													
施 肥													
剪 定													

好みの環境				
日当り	陽	○	○	陰
土 壤	乾	○	○	湿
寒 さ	強		○	弱
暑 さ	強	○		弱
潮 風	強	○		弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○					

ポイント 風通しの良い肥沃地を好むので、腐葉土を敷込み高植えが適する。日当りを好むが、半日陰地でも生育する。南方原産のため、寒さにやや弱い。冬の寒風が直接当たらないような場所がお薦め。

剪 定 放任しても自然に樹形が整う。枝先にたくさん蕾をつけ、次々に咲くので、剪定時期に限られる。花後の3～4月が適期。刈り込みは時期により花芽を切ることになるので枝抜き剪定がお薦め。

病虫害 日本のツバキと比べ病虫害は少ない。まれにチャドクガの食害にあうことがあるが、発生初期には葉の裏側に隊列を組んでいるので、葉ごと切り取ると比較的除去しやすい。(肌の露出に注意する)